

月刊 社会保険 8

2017 VOL.805

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



全国社会保険委員会連合会 第25回総会開催

日本年金機構からのお知らせ

平成29年度年金事務所の適用・徴収機能の移管・集約について

「子育て安心プラン」について

全国社会保険委員会連合会 第25回総会開催 5

日本年金機構からのお知らせ

平成29年度年金事務所の適用・徴収機能の移管・集約について 14

「子育て安心プラン」について 16

年金・健康保険委員活動報告 秋田における社会保険委員会活動
株式会社水建技術取締役総務部長 小林 斉子 18

あの人 この人 私たち 第4回 ソーセージ・マッシュポテト・カレー エッセイスト 藤川 鉄馬 20

書評 楠木 新著『定年後 — 50歳からの生き方、終わり方』 23

損をしたくない人が損をしがちな心理学 第4回 経済学で考える晩婚化 経済コラムニスト 大江 英樹 24

自分らしく生きる社会とは 第10回 ピンクリボン活動 認定NPO法人乳房健康研究会理事 岡山 慶子 26

しなやかなからだづくり 第4回 ときめきと長寿の関連性 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 28

社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30 / 年金保険編 32 / 介護保険編 34 / 労働保険編 36
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ

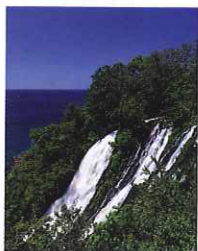
—訂正とお詫び—

本誌平成29年7月号(通巻804号)16ページ中「改正内容③ 育児目的休暇の購入を促進」とあるのは「改正内容③ 育児目的休暇の導入を促進」の誤りでした。お詫びして訂正します。

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土、寒河江智果/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」**「オシンコシンの滝」**

北海道斜里町



オシンコシンの滝は、落差50mもある大きな滝である。
この滝の魅力は、空と一緒に見ることができることだと私は思っている。
多くの滝は険しい密林に入って行く。そのため薄暗く、光が当たるだけでも珍しく感じる。しかし、この滝はすっきりと顔を出しているため、少し離れたところからでも見る事が可能。
ここでしかできないことが多くあり、表現するのも実に楽しい。見る機会があればさまざまな視点で観察をして、自分だけのポイントを探してみよう。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

秋田における社会保険委員会活動



株式会社水建技術取締役総務部長
小林 斉子

●地域紹介
東北の日本海に面した「美の国あきた」。

秋田県は、世界遺産の白神山地、日本一深い田沢湖、緑豊かなカルデラ湖の十和田湖、みちのくの小京都といわれる角館、「なまはげ」で有名な男鹿半島、松尾芭蕉も訪れた象潟、出羽富士とも称される優美な姿の鳥海山：など、紹介しきれないほど豊かな自然に恵まれています。

また、雄物川、米代川、子吉川と、県内に流れる豊富な水源に広がる水田地帯。日本有数の米どころ、酒どころたる所以です。

お米の「あきたこまち」はもちろん、今や全国的に有名になった「いぶりガッコ」（たくあん・燻製）、郷土料理の「きりたんぼ」、出荷量日本一の枝豆、ジュンサイ、とんぶり、リンゴ、ハタハタなど日本海の海の幸等々美味しいものがたくさんあります。

伝統行事では、東北3大祭りのひとつ「竿灯祭り」。私が住む県都秋田市で毎年8月3日から6日まで開催されます。提灯で稲穂を表しており、280本の竿灯が一斉に差し手によって上げられ、力強い妙技が繰り広げられる様は、夏の夜をより幻想的で壮大に彩ります。冬は横手の

「かまくら」、大館のアメっこ市、湯沢の犬っこ祭りなど、いろいろな小正月行事があります。

忠犬ハチ公として、また秋田県知事がロシアのプーチン大統領に贈ったことで世界中の愛犬家をも魅了した「秋田犬」、そして忘れてはならない色白の「秋田美人」。乳頭温泉や玉川温泉などさまざまな泉質の温泉に浸かりながら、海の幸、山の幸を堪能し、四季折々に趣のある秋田を是非1度訪れてみてはいかがでしょうか。

●当社の紹介および社内活動

当社は秋田市に本社を置き、昭和56年に測量設計会社として設立されました。その後、補償コンサルタント、建設コンサルタント、2級建築士事務所と営業範囲を広げ、主に官公庁より発注される一般土木、農業土木の調査・測量・設計・補償業務を行っています。

具体的には、道路、用排水路、河川、港湾、橋梁、圃場等の測量設計調査、建物工作物等の調査積算、工損事前事後調査、土地調査などです。

時折、山や田んぼがなくなつて道路や橋が造られているところを見かけたことがあると思いますが、その工事の前には必ず測量がされています。

●秋田における委員の役割と今後の活動

秋田県は全国一少子高齢化が進んでおり、人口減少も全国最速です。また、平成25年の生活習慣病予防健康データによると、メタボリックシンドロームリスク保有率が男女とも全国ワースト1位となっています。その結果、医療費も年々増えつづけ、健康保険料率10・16%と東北で最も高く、事業主、被保険者ともに大変厳しい現実に直面しています。

冒頭に述べましたように秋田県は米の国、酒の国といわれ、雪国ならではの塩蔵物も多く、食生活が生活習慣に大きく影響していると思われまます。特に「減塩」については、秋田県の大きな課題となっています。

委員研修会ではこのような現状を多く取り上げており、私たち委員がそれぞれの職場において情報発信することが責務となります。東北の中心で一番低い健診の受診率の向上や、従業員の健康管理・健康づくりの一助となるよう努めていきたいと思えます。

また、定年の引上げ、再雇用などにより在職のまま年金を受給される従業員の増加や、短時間労働者に対する適用拡大など、職場で年金について相談を受ける機会も増えていま

す。まだ道もなにもない山の中に重い測量機器や杭を運び、藪を刈り払いながら登っていき測量します。今は衛星を利用したGPS測量やドローンなど測量技術も進歩しています。現場は自然との闘いです。悪天候、熊やスズメバチ、熱中症などにも気をつけながらの作業は現場の社員にとって非常に大変なことです。みな高い技術力と責任感、誇りを持って業務を遂行しています。

また、災害時には迅速な対応など地域社会に貢献し、地域の特性を活かした地域社会づくりに「技術力・創造力・誠意をもって社会のニーズに応え貢献する」という経営理念のもと、よりよい品質の向上を目指し、社員一丸となって取り組んでいます。

その中で、当社では昨年健康経営セミナーに参加し、また協会けんぽ秋田支部の働きかけにより「健康経営宣言」にエントリーいたしました。それと同時に建物内全面禁煙とし、秋田県の「受動喫煙防止宣言施設」にも登録されました。

このような事業に参加することにより、今まで「健康」というものは個人に委ねられていると考えていましたが、会社全体で「健康」について向き合い、そして「健康」が個人



株式会社水建技術

す。研修で正しい知識を身につけ、従業員や事業主に発信できるように能力の向上に努めたいと思います。

今、年金・医療・介護という社会保障制度を取り巻く環境がさまざまに変化し、改革や改正が進む中、私たち年金委員・健康保険委員の果たす役割は、より大きなものになっています。

今後も秋田年金事務所、協会けんぽ秋田支部、秋田県社会保険協会との連携を強め、秋田県ならではの課題もある中、委員相互の親睦・交流、知識の習得、能力向上に励み、信頼されるよき相談役、パイプ役を目指し活動に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、全国の社会保険委員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。

秋田県社会保険委員会連合会副会長 秋田地区社会保険委員会会長 秋田地区社会保険委員会秋田支部支部長

だけのことではなく、会社の経営、環境にまで影響するという認識を共有できたことは大変プラスになりました。

年金制度への取組みとしては、年金受給年齢に近づいた該当者を対象に、秋田県社会保険協会が主催する「年金相談の予約制」等の周知活動を行いました。

●委員会活動について

私の所属する秋田地区社会保険委員会には、2年前に東支部と西支部が統合し秋田支部となり、現在の委員数は460名です。

主な事業としては、①年金委員・健康保険委員研修会の開催、②参考図書・ダイアリーの配付、③委員制度の拡充、④年金事務所・協会けんぽ事業への協力、⑤秋田県社会保険協会事業への協力、となっています。

研修会は、「年金制度研修」と「健康づくり研修」の2部構成とし、「より身近な実務に関連した内容をわかりやすく」という委員の皆さんからのご要望にお応えする形で毎年開催しています。

また、全県4地区の社会保険委員会が一堂に会する年金委員・健康保険委員・事業主表彰式の際には、終

了後に秋田地区と鷹巣地区との合同委員研修会を開催し、他地区との交流や親睦を深めています。このような研修会には毎回、秋田年金事務所、協会けんぽ秋田支部から講師派遣のご協力をいただいています。

秋田県社会保険協会との合同役員優良事業所視察研修では、昨年は東日本大震災から復興を遂げられた福島県いわき市の「スパリゾートハワイアンズ」を訪れました。全国から大勢の観光客が訪れており、従業員の方々の復興までの長い道のりのご苦労を感じさせない明るい笑顔が印象的でした。職場での従業員一人ひとりに対しての健康管理やこころのケアがあったことの結果だと思えました。

年金委員・健康保険委員の拡充については、当委員会だけではなかなか難しく、秋田年金事務所と協会けんぽ秋田支部のご協力をいただいています。

協会けんぽ秋田支部では、会報誌への告知および委嘱推薦状の掲載により各事業所へ周知を図り、秋田年金事務所では、従業員30名以上の事業所宛に年金委員委嘱依頼状を郵送するなど、これらにより徐々に成果が表れてきている状況です。